

DISPERBYK-2175

水系、溶剤系、および高固形分系向けの無溶剤型の湿潤分散剤。幅広い相溶性を備え、特に酸触媒系用ピグメントコンセントレートの製造に適する。

製品データ

組成

ポリウレタン

一般性状

本データシートに記載された数値は代表値であり、品質規格ではございません。

密度 (20 °C):	1.07 g/cm ³
PH (水中 1 %):	7.9
有効成分:	100 %
酸価:	3.8 mg KOH/g
アミン価:	6.2 mg KOH/g
形状:	液体

貯蔵および輸送

未開封の元の容器での製品の品質保持期間： 36 月
50°C以下の温度で保管および輸送すること。

適用分野

塗料

特長

- 立体安定化による脱凝集
- 複数の種類の顔料親和基を有する分子構造により、：
 - 水系、溶剤系およびハイソリッド系における幅広い相溶性
 - 幅広い顔料親和性
- 長期的な色安
- 定性の向上
- 発色性と透明性、あるいは隠蔽力の向上
- ミルベースの粘度低減
- いくつかの系において沈降防止効果をもたらし、缶内安定性を向上
- いくつかの系においては、後添加の相溶化剤としても使用可能

推奨用途

DISPERBYK-2175は、水系、溶剤系、およびハイソリッドピグメントコンセントレートに適しており、ミルベースへの添加にも使用できます。アクリル系、ポリウレタン系、アルキド系塗料に適用可能で、特に酸触媒による架橋系塗料に推奨されます。

木工および家具用塗料	☒
建築用塗料	☐

☒ 最適 ☐ 適

推奨添加量

添加剤として:

無機顔料:	1-20 %
酸価チタン:	1-5 %
有機顔料:	5-50 %
カーボンブラック:	15-100 %
ツヤ消し剤:	5-50 %

上述の添加量は初期値として適用して下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

最適な性能を得るためには、顔料を添加する前に、添加剤をミルベースに添加する必要があります。バインダーを含まないディスパージョンで、顔料を添加する前に、ミルベースの水または溶剤成分を撹拌しながら添加剤とあらかじめ混合しておく必要があります。ミルベースにバインダーが含まれている場合は、顔料を添加する前に、バインダー、溶剤、および添加剤を均質に混合しておく必要があります。

本製品をゆっくりと、かつ中程度から高いせん断力下で添加する限り、後添加も可能です。



BYK-Chemie GmbH

Abelstraße 45
46483 Wesel
Germany
Tel +49 281 670-0
info@byk.com
www.byk.com



ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK-AQUAGEL®, BYK®-DYNWET®, BYK-MAX®, BYK®-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKCARE®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKONITE®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAX®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, NANOBYPK®, OPTIGEL®, PURABYPK®, RECYCLOBYPK®, RHEOBYPK®, SCONA®, SILBYPK®, TIXOGEL® および VISCOBYPK® は、BYK グループの登録商標です。

ここに記載されている情報は、当社の現在の知見と経験に基づくものです。ここに記載されている製品およびデータまたは情報に関して、明示的または黙示的かを問わず、いかなる種類の保証または確約も行われません。これには、製品性または特定目的への適合性の保証も含まれます。また、第三者の知的財産権を侵害することなく、これらの製品、データまたは情報を使用することについても、一切の保証はありません。製品の適合性、使用、または適用に関する情報は拘束力を持たず、製品の特性、使用、または適用に関する責任を負うものではありません。契約条件、特に、合意された製品仕様は常に優先されます。当社製品を使用する前に、お客様の目的に対する適合性を判断するために予備試験で製品をテストすることをお勧めします。当社は、ここに記載されている情報に対して予告なく変更を加えたり、更新したりする権利を有します。